

いじめについては未然防止の観点に立ち、まずは学校が、日頃から個に応じたわかりやすい授業を行うとともに、深い児童生徒理解に立ち、子どもが楽しく学びつつ、いきいきとした学校生活を送れるようにしていくことが重要です。また、未然防止や早期対応に関する取組については、学校と保護者が緊密に連携し、推進していくことが大切です。

しかし、いじめの対応は、学校のみでは対応が困難な事例があり、児童生徒の健全な育成の観点から学校と警察は、日常的に情報共有や相談を行うことができる連携体制の構築が求められています。

本リーフレットでは、学校で起こり得るいじめの事例のうち、犯罪行為として取り扱われるべきと認められる事案や重大ないじめ事案として警察への相談または通報すべき具体例として国が示したものを参考としてお示しします。

## 警察に相談または通報すべきいじめの事例

学校で起こり得る事案の例	該当し得る犯罪
○ ゲームや悪ふざけと称して、繰り返し同級生を殴ったり、蹴ったりする。 ○ 無理やりズボンを脱がす。	<b>暴行</b> (刑法第 208 条)
○ 感情を抑えきれずに、ハサミやカッター等の刃物で同級生を切りつけてけがをさせる。	<b>傷害</b> (刑法第 204 条)
○ 断れば危害を加えると脅し、性器や胸・お尻を触る。	<b>不同意わいせつ罪</b> (刑法第 176 条)
○ 断れば危害を加えると脅し、現金を巻き上げる。 ○ 断れば危害を加えると脅し、オンラインゲームのアイテムを購入させる。	<b>恐喝</b> (刑法第 249 条)
○ 靴や体操服、教科書等の所持品を盗む。 ○ 財布から現金を盗む。	<b>窃盗</b> (刑法第 235 条)
○ 自転車を壊す。 ○ 制服をカッターで切り裂く。	<b>器物損壊等</b> (刑法第 261 条)
○ 度胸試しやゲームと称して、無理やり危険な行為や苦痛に感じる行為をさせる。	<b>強要</b> (刑法第 223 条)
○ 本人の裸などが写った写真・動画をインターネット上で拡散すると脅す。	<b>脅迫</b> (刑法第 222 条)
○ 特定の人物を誹謗中傷するため、インターネット上に実名をあげて、身体的特徴を指摘し、気持ち悪い、不細工などと悪口を書く。	<b>名誉毀損、侮辱</b> (刑法第 230 条、231 条)
○ 同級生に対して「死ね」と言ってそそのかし、その同級生が自殺を決意して自殺した。	<b>自殺関与</b> (刑法第 202 条)
○ 同級生に対して、スマートフォンで自身の性器や下着姿などの写真・動画を撮影して送るよう指示し、自己のスマートフォンに送らせる。 ○ 同級生の裸の写真・動画を友達 1 人に送信して提供する。 ○ 同級生の裸の写真・動画を SNS 上のグループに送信して多数の者に提供する。 ○ 友達から送られてきた児童ポルノの写真・動画を、性的好奇心を満たす目的でスマートフォン等に保存している。	<b>児童ポルノ提供等</b> (児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律第 7 条)
○ 元交際相手と別れた腹いせに性的な写真・動画をインターネット上に公表する。	<b>私事性的画像記録提供 (リベンジポルノ)</b> (私事性的画像記録の提供等による被害の防止に関する法律第 3 条)

引用 「いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について(通知)」  
令和 5 年 2 月 7 日 文部科学省

児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。

## 大人が気付きにくい、いじめ

いじめは、ふざけや遊びをよそおったり、インターネット上やメールなど、大人の目に付きにくい場所や形で行われます。いじめられた子ども自身も、「心配されたくない」「仕返しが怖い」という気持ちから、いじめを否定する心理が働く場合もあります。

## ささいな兆候も、積極的に認知

いじめの認知件数は、社会の関心が下がるとともに低下してしまう傾向が見受けられます。いじめは必ず起こりうるもの、という認識のもと、ささいな兆候にも積極的に認知し、対処していく姿勢が必要です。

参照「知っていますか?『いじめ防止推進法』」  
文部科学省

## いじめに対しての学校の対応

### 児童生徒に対して

- ◆ 被害児童生徒に対しては、徹底して守り抜くとの意識の下、SC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)と協力しつつ、被害の拡大や二次的な問題の発生を防ぐとともに、落ち着いて教育を受けられる環境の確保や不登校等の場合における学習面での十分な支援にも留意。
- ◆ 加害児童生徒に対しては、教育的配慮の下、毅然とした態度で指導・対応。いじめの背景に当該児童生徒が様々な背景を有している場合もあり、特別な配慮を必要とする場合には、関係機関と連携して適切な支援を実施。

引用「いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について(通知)【概要】」  
令和5年2月7日 文部科学省

## 「学校と家庭が協力した『いじめ対応』」

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課

北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課

### 学校と家庭が協力した「いじめ対応」


いじめかどうかは、どう判断するのですか?

いじめの定義は法により示されています。

子どもが、友達の間で、何かしらの行為を受け、心身の苦痛を感じていれば、学校はいじめと認知します。

**Point**

- 子どもの感じる被害性に着目して、いじめかどうか判断します。
- 好意から行った行為が意図せずに相手側の子どもに心身の苦痛を感じさせてしまったような場合、学校は「いじめ」という言葉を使わずに、子どもたちに指導することもあります。



## 令和7年度版「函館 いじめ見逃しゼロ」

函館市教育委員会 函館市いじめ防止対策審議会

は こ こ で み の が

### 函館 いじめ見逃しゼロへ

いじめの見逃しゼロの学校・地域を目指して～

いじめについて基本認識の徹底に立ち、まずは学校が、自らから顧みることにより、子どもが安心して学校生活を送れるよう、思いやりを育むことが重要です。

また、いじめの早期発見や早期対応、早期対応等に関する取組については、学校と保護者が緊密に連携し、迅速していくことが大切です。

特に、大人が気付きにくい「ネット上のいじめ」については、保護者や教師自身が、インターネットやアプリの各種機能に関する基本的な知識を習得し、理解を深めていくことが必要です。

日頃から子どもたちの利用状況について関心をもち、その把握に努め、いじめ見逃しゼロの学校・地域を目指しましょう。

**保護者のみなさまへ**

子どもが、友達との間で何かしらの行為を受け、心身の苦痛を感じていれば、学校はいじめと認知します。

- ☑ 子どもの感じる被害性に着目して、いじめかどうか判断します。
- ☑ 好意から行った行為が意図せずに相手側の子どもに心身の苦痛を感じさせてしまった場合、学校は「いじめ」という言葉を使わずに、子どもたちに指導することがあります。
- ☑ **子どもの変化に気付いたら** ⇒ 保護者から子どもに声をかけてみましょう。
  - ☐ よく話を聴くことがポイントです。最後まで丁寧に聴いてみましょう。
  - ☐ 子どもにとっても、思いを言葉にしてめると、自分の心の中が整理されて、心が軽くなる場合があります。
- ☑ **家庭で悩んだり、困ったりしたら** ⇒ **学校に相談しましょう。**
  - ☐ 学校で対応することが必要に応じて、家庭では気が付かなかったことや対応方法を相談することがあります。
  - ☐ 学校には、管理職や学級担任以外にも、養護教諭や子どもの心のケアを行うスクールカウンセラーがいますので、保護者が相談しやすい教職員等にお話しください。

**「函館市いじめ防止基本方針」改訂のポイント**

このたび、函館市教育委員会では、令和6年8月に改訂された国の「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」等を踏まえ、「函館市いじめ防止基本方針」を改訂しました。

今後も、家庭・学校・地域社会を結ぶ函館市民全体でいじめの問題に取り組んでいきます。

- ☑ **いじめの防止等のための役割と取組**
  - ☐ 保護者は、子どもがインターネット利用を適切に管理し、インターネットを適切に活用する能力の習得の促進を図ります。
  - ☐ 学校は、「社会に関わったチーム学校」として、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めます。
  - ☐ 教育委員会、学校に対して、いじめの対応については、相談に対応することや、保護者や関係機関等と連携していじめ防止等のための取組を進めることを指導します。
- ☑ **重大事態への対応**
  - ☐ 重大事態は、重大事態が発生した際には、教育委員会等を通じて迅速に調査します。
  - ☐ 重大事態調査を行う際には、公平性・中立性が確保された調査組織による調査実施と連携します。

**「函館市いじめ防止基本方針」(令和7年3月改訂)**  
(令和7年3月 函館市教育委員会)

